

宮城県プロボノ事業（1日プロボノ）

～NPOが抱える課題の解決にあなただのアイデアを出しませんか～

主催：宮城県

東日本大震災からの復興の本格化や少子高齢化の更なる進展に伴う新たな地域課題への対応には、行政と多様な主体との連携強化や協働推進が求められており、NPO活動への期待が一層高まっています。そのような中、人材不足や資金不足等、NPOの運営基盤強化が課題となっており、今、その解決策として、企業や団体等に所属しながら、スキルを活用して社会に貢献する「プロボノ」が注目されています。

このたび、県内のNPOが抱える課題について試行的に「プロボノ」を実施することとし、課題解決のためのヒントとなる具体的なアイデア等について参加の皆さんと意見交換を行います。

企業等との協働を考えておられるNPOやNPOとの協働に関心をお持ちの企業等の皆様、是非、御参加ください。

と き

平成31年1月31日（木）午後1時から

会 場

宮城県本町分庁舎（漁信基ビル）502 会議室（仙台市青葉区本町三丁目6-16）

【プログラム】（時間は前後することがあります）

○開会 午後1時（開場12時30分）

○グループワーク（NPO毎）

- ・NPO：特定非営利活動法人演劇情動療法協会
特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会 ほか
- ・講師：特定非営利活動法人 中部プロボノセンター
代表理事 戸成 司朗 氏（裏面にプロフィール紹介）

○グループ発表

○閉会 午後4時45分

【参加対象】

（定員15名程度：申込順）

宮城県内に所在を置いて活動する特定非営利活動法人、市民活動団体（NPO等）、ボランティア活動に興味のある県内企業、団体に勤務する社会人の方や個人の方。

※参加費：無料

【NPO紹介】

特定非営利活動法人日本演劇情動療法協会（仙台市）
認知症患者や鬱病などの患者を対象として、演劇情動療法を提供し、認知症の予防及び認知症の症状を改善させることにより、患者とその家族が、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現に向け活動を行っている。

（演劇情動療法：認知症患者等が社会生活を円滑に進めるために必要と考えられる情動機能に良い刺激を繰り返し、機能の低下を予防し社会生活をできるだけ長く送っていただくようにする方法。）

・活動展開に向けた運営体制等の検討

特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会（名取市）
自然豊かな名取の海岸環境を次世代へ継承していくため、希少植物ハマボウフウを中心に、海浜植物の保護育成に係る事業を行い、海岸環境保全を行っている。

（ハマボウフウ：海岸の砂地に生育するセリ科多年草植物。季節の食材のほか、一部は漢方薬として利用され、かつては、全国の海岸に広く群生していたが乱獲等で激減。本県でも昭和30年代に乱獲に遭い、近年も漁港整備や護岸工事に伴う海岸荒廃もあり絶滅に瀕した。）

・活動への共感者を増やすための方策

上記NPO団体のほか、子育て関連活動を行うNPO団体について調整中です。

なお、参加者の皆様に参加いただくグループについては、事務局で決めさせていただきます。



【講師紹介】 戸成 司朗（となり しろう）氏

1948年生まれ 長野県出身

35年間大手スーパーの㈱西友に勤務、07年執行役副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工㈱に入社、社会貢献推進室を設立し室長に就任、NPOとの協働による社会課題解決型のプログラムを始め価値創造型CSRを推進している。又、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し共同代表理事を務める。

宮城県プロボノ事業 「1日プロボノ」
参加申込書

団体名称 ・ 団体代表者お名前	
団体の所在地	
ご連絡先	お名前
	TEL
	FAX
	E-mail
参加者の お名前	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ

参加申し込み
お問い合わせ先

宮城県 環境生活部 共同参画社会推進課 NPO・協働社会推進班
TEL：022-211-2576 FAX：022-211-2392
E-mail：kyoshan@pref.miyagi.lg.jp

申込期限：平成31年1月25日（金）

※会場には駐車場がございません。公共交通機関を御利用ください。